



機関誌バックナンバー紹介

31号
1994

環境衛生工業会の新たな発展を期待する……………1	厚生省水道環境部長 藤原 正弘
廃棄物循環型社会づくりを目指して……………4	厚生省環境整備課長 三本木 徹
英国における環境監査の動向……………6	静岡県立大学大学院助教授 横田 勇
技術報告……………10	
膜分離技術の運転実績と課題	日環工技術委員会(し尿) 編纂
廃棄物行政の動き……………33	
製品技術紹介……………43	
日環工の動き……………66	
厚生省・人事異動……………68	
編集後記	

33号
1995

阪神・淡路大震災に思う……………1	(財)廃棄物研究財団理事長 山村 勝美
廃棄物対策の課題と展望(講演会)……………6	国立公衆衛生院 廃棄物工務部長 田中 勝
廃棄物行政の動き……………19	
・包装廃棄物新法の背景と考え方	
・廃棄物対策関係予算の概要	
・浄化槽汚泥の適正処理の充実・強化等	
・人事異動	
欧州環境事情調査団に参加して……………27	副団長 樋山 圭一
製品技術紹介……………33	
日環工の動き……………60	
日環工のあんない……………61	
編集後記	

32号
1994

環境衛生工業会のさらなる発展のために……………1	千葉工業大学教授 平山 直道
日環工の明日を語る(座談会)……………4	
平成7年度廃棄物予算概算要求の概要……………21	
廃棄物分野における海外技術協力の課題……………32	大阪湾広域臨界環境整備 センター参事 森 一見
廃棄物の最終処分基準等の強化について……………36	環境庁水質保全局
海洋汚染廃棄物対策室長 吉田 徳久	
廃棄物行政の動き……………40	
技術報告(ばいじんの処理技術の現状)……………41	
日環工技術委員会(ごみ) 編纂	
廃棄物処理技術 Q&A……………62	
製品技術紹介……………65	
日環工の動き……………90	
日環工のあんない……………91	
編集後記	

34号
1995

有害廃棄物の処理・管理体制の確立を……………1	京都大学名誉教授 平岡 正勝
廃棄物行政は毎日が勝負と認識して……………4	厚生省水道環境部長 坂本 弘道
廃棄物処理の現状と今後の課題……………6	厚生省環境整備課長 三本木 徹
第8次廃棄物処理施設整備計画……………12	
平成8年度廃棄物関係予算概算要求……………17	
合併処理浄化槽への転換の推進……………27	
浄化槽汚泥等の適正処理の充実強化……………31	(日環工・講演会から)
施設見学会……………41	
廃棄物補助制度 Q & A……………46	
製品技術紹介……………47	
日環工の動き……………69	
編集後記	

35号
1996

ごみの行く末……………1
 (財)日本環境衛生センター専務理事 小林 康彦
 第8次廃棄物処理施設整備……………5
 5ヵ年計画の概要(講演会)
 厚生省水道環境部計画課課長補佐 中村 健二
 廃棄物行政の動き
 ・平成8年度廃棄物関係予算の概要……………18
 厚生省水道環境部
 ・最終処分場の構造等の技術上に……………24
 基準強化(通知)
 ・平成8年4月付・人事異動……………27
 Q & A(サイクル施設と焼却灰)……………29
 日環工の動き……………30
 ・厚生大臣表彰を受賞して……………32
 ・欧州環境事業調査団に参加して……………34
 (株)栗本鐵工所環境装置技術部 園 恭輔
 お国自慢……………37
 船井郡衛生管理組合の巻(その1)
 製品技術紹介……………41
 編集後記

36号
1996

最終処分場と廃棄物……………1
 福岡大学工学部教授 花嶋 正孝
 廃棄物行政の動き……………4
 ・容器包装リサイクル法施行に向けて
 厚生省生活衛生局容器包装リサイクル推進室
 リサイクル推進係長 久保田 学
 ・今後の産業廃棄物対策の基本的方向
 厚生省生活衛生局産業廃棄物対策室
 ・ダイオキシン削減緊急対策(通知)……………14
 ・ごみ処理に係わるダイオキシン
 削減対策検討会(中間報告)……………15
 PCBに関する国際セミナー……………19
 ダイオキシン対策の現状と経過について……………20
 NKK 坪井 晴人
 スラッグの有効利用問題点……………25
 日環工・スラッグ有効利用検討小委員会
 委員長 萩原 均
 <技術報告>
 ごみ処理施設に関する改良・改造共同研究……………28
 日本環境衛生工業会技術委員会
 委員長 野津征一郎
 し尿処理施設に関する改良・改造共同研究……………33
 日本環境衛生工業会技術委員会
 副委員長 一木 嘉之
 Q & A(廃棄物処理施設の補助制度)……………37
 日環工の動き……………38
 お国自慢……………40
 船井郡衛生管理組合(その2)
 松江市
 製品技術紹介……………47

37号
1997

資源循環型社会の達成度指標……………1
 国立公衆衛生院廃棄物工学部長 田中 勝
 ごみ処理におけるリサイクルについて……………4
 玉川大学 工学部教授 鍋島 淑郎
 廃棄物行政の動き
 ・平成9年度廃棄物対策関係予算の概要……………14
 ・公共工事費用削減対策の行動計画(通知)……………19
 ・廃棄物の処理及び清掃に関する
 法律の一部を改定する法律要綱……………23
 ごみ焼却プラントのダイオキシン対策……………28
 (株)タカマ経営企画本部 手島 肇
 Q & A(ダイオキシン類の削減対策)……………35
 (し尿処理施設の補助金について)……………37
 日環工の動き……………39
 ・厚生大臣表彰を受賞して……………41
 ・欧州環境事情調査団に参加して……………44
 日本鋼管(株)環境プラント営業部 磯部 映美
 お国自慢……………52
 利尻郡清掃施設組合……………52
 枕崎地区衛生管理組合……………54
 製品技術紹介……………57
 編集後記

38号
1997

廃棄物で国土を創ろう……………1
 埼玉大学教授 藤田 賢二
 歴史と伝統の中で新しい発展に向け……………4
 (社)日本環境衛生工業会 副会長 森下 忠幸
 廃棄物行政の動き
 ・廃棄物焼却に係るダイオキシン
 削減のための規制措置について……………8
 ・廃棄物関係国庫補助金
 交付要領の改正について……………10
 ・平成10年度廃棄物対策関係予算概算要求の概要……………19
 ・1997年上期・廃棄物行政日誌……………24
 Q & A(汚泥再生処理センターについて)……………26
 日環工の動き……………28
 お国自慢……………31
 七尾鹿島広域圏事務組合……………31
 出雲市外6市町広域事務組合……………36
 海外こぼれ話(タイ・ブーケット)……………40
 三菱重工(株)横浜製作所
 環境装置営業部 吉井 龍哉
 製品技術紹介……………43
 編集後記……………78

39号
1998

巻頭言
 焼却によるダイオキシン発生を無くする
 技術開発を急げ 坂本 弘道 1
 地球温暖化対策における
 「システムエネルギー」の重要性 平田 賢 3
 自治体、産業界に見るゼロエミッションの取り組み
 松村 郡守 14
 廃棄物行政の動き
 ◇投資の重点化を基軸に 迫田 洋一 20
 ◇平成10年度廃棄物対策関係予算の概要 24
 ◇1997年下期・廃棄物行政日誌 28
 汚泥再生処理センターへの取り組み 一木 嘉之 30
 Q & A…平成10年度ごみ処理施設整備に係る
 国の地方財政措置について 36
 JEFMA 活動 37
 平成9年度厚生大臣表彰を受賞して 39
 マレーシア・シンガポール・オーストラリアの
 環境事情調査 千葉 佳一 42
 お国自慢
 ◇双三清掃施設組合 47
 ◇新潟県柏崎地域広域事務組合 50
 製品技術紹介 53
 編集後記

40号
1998

巻頭言
 21世紀における日本の産業の柱を環境産業とするために
 戸田友三男 1
 最終処分場の適正化について 花嶋 正孝 3
 廃棄物行政の動き
 ◇平成11年度廃棄物関係予算概算要求の概要 9
 ◇特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)
 の内容と解説 北波 孝 14
 ◇1998年上期・廃棄物行政日誌 19
 し尿処理施設のし尿・汚泥焼却設備における
 ダイオキシン類排出状況調査報告書 加藤 俊輔 21
 Q & A…許可を要しない廃棄物処理施設の
 軽微な変更について 27
 JEFMA 活動 29
 お国自慢
 ◇美馬環境整備組合 32
 ◇袋井地域環境厚生施設組合 35
 製品技術紹介 39
 会員会社 76
 編集後記

41号
1999

巻頭言
ゼロ・エミッションアプローチ 藤村 宏幸 1
廃棄物問題へのシステムズアプローチ 古市 徹 3

廃棄物行政の動き
◇厚生省における PFI の手法導入の検討 入江登志男 11
[参考資料] 一般廃棄物処理施設整備への PFI 制度の導入に関する検討について(中間報告) - 一般廃棄物処理施設整備のあり方に関する検討会 18
◇平成 11 年度廃棄物対策関係予算の概要 岩淵 竜也 23
◇1998 年下期・廃棄物行政日誌 26
◇ダイオキシン問題と対策 越智 宏志 26
◇その後のダイオキシン類問題、対策の経過と内容について 森本 洋 28

廃棄物処理施設の性能指針と今後の対応について 萩原 均 32

Q & A...厚生省との質疑応答について 36
JEFMA 活動 38

平成 8 年度 一般廃棄物(ごみ)の排出及び処理状況等について(速報) 40
産業廃棄物の排出及び処理状況等について 43
平成 10 年度厚生大臣表彰を受賞して 44

欧州環境事情調査団に参加して 中澤喜久郎 45

お国自慢
◇津名郡広域事務組合 49
◇竹野川環境衛生組合 53
製品技術紹介 57
会員会社 96
編集後記

42号
1999

巻頭言
ミレニアムに向けて - 廃棄物処理に思う - 鍋島 淑郎 1

特別寄稿
生ごみの処理 河村 清史 3

廃棄物行政の動き
◇平成 12 年度廃棄物関係予算概算要求の概要 厚生省水道環境部環境整備課 14
◇1999 年上期・廃棄物行政日誌 19
◇廃棄物処理技術検証・確認事業について 寺島 均 21
◇廃棄物処理技術開発支援事業について 諸頭 達夫 24

PFI 推進研究会報告書 - そのポイント - (経済企画庁総合計画局) 28
循環型経済システムの構築に向けて (通産省産業構造審議会) 31

Q & A...厚生省との質疑応答について 41
JEFMA 活動 43

国際環境整備研究委員会訪欧調査団に参加して 横田 勇 47

お国自慢
◇飯塚市 51
◇日置地区塵芥処理組合 55
製品技術紹介 59
会員会社 78
編集後記

43号
2000

巻頭言
「安全」という名の事業の推進を 新井 唯也 1

講話
今国会(第147通常国会)における廃棄物関連法案について 飯島 孝 3

廃棄物行政の動き
◇平成 12 年度廃棄物関係予算の概要 厚生省水道環境部環境整備課 18
◇1999 年下期・廃棄物行政日誌

特別寄稿
開発途上国の廃棄物処理と適正援助 北脇 秀敏 25
◇し尿処理施設のダイオキシン類排出状況調査報告 その 2 河津 義男 32
◇環太平洋有害廃棄物会議に参加して 藤井 重雄 34
ハーフタイム ちょっとひとやすみ 35
第 6 回 海外環境事情調査団に参加して 菊池昭二美 37

JEFMA 活動 43

お国自慢
◇礼文町 46
◇(財)クリーンいわて事業団 49

製品技術紹介 53
会員会社 90
編集後記

44号
2001

巻頭言
新しい世紀の始まりに (特別寄稿) 森下 忠幸 1

再び環境衛生工業会の発展のために 平山 直道 6
循環型社会と次世代の最終処分 花嶋 正孝 9
国 益 藤田 賢二 15
循環型社会の形成に向けて 田中 勝 18
ガス化熔融技術の現状とその課題 鍋島 淑郎 21
循環型社会への期待と戸惑い 小林 康彦 24
21 世紀の日本環境衛生工業会に期待する 戸田玄三男 29

廃棄物行政の動き
◇平成 13 年度廃棄物関係予算の概要 31
◇2000 年上期・廃棄物行政日誌 35
◇浄化槽法改正にともなう汚泥再生処理センターの整備について 岩尾 充 38
◇第 7 回海外環境事情調査団に参加して 中村 立雄 42
◇ISWA バリ国際会議・ENTOSORGA 調査団の概要 萩原 均 46

ハーフタイム ちょっとひとやすみ 49
Q & A...DXN 類対策特別措置法等について (厚生省との質疑応答) 51
JEFMA 活動 56

お国自慢
◇恵山地区衛生処理組合 59
◇紋別市 62
製品技術紹介 65
会員会社 102
編集後記

45号
2001

巻頭言
厨芥類のリサイクルとその課題 河村 清史 1

今後の廃棄物行政
循環型社会構築にむけて 環境省廃棄物対策課 3

廃棄物行政の動き
◇一般廃棄物の排出及び処理状況(平成 10 年度実績) 5
◇産業廃棄物の排出及び処理状況(平成 10 年度実績) 16
◇2001 年上期・廃棄物行政日誌 18

◇常任参与制度を導入 (社)日本環境衛生工業会 22
◇ごみ焼却施設ダイオキシン類削減対策工事について 有田 耕二 24
◇焼却施設等解体作業マニュアル説明会に参加して 岡田 光浩 28

◇汚泥再生処理センター等の性能指針と施設整備の計画・設計要領について 加藤 俊輔 32
◇廃棄物最終処分場の性能指針と施設整備の計画・設計要領について 萩原 薫 35

Q & A...し尿処理施設の焼却炉はどうですか! 環境省令の改正 39
JEFMA 活動 41

お国自慢
◇日高中部衛生施設組合 47
ハーフタイム ちょっとひとやすみ 51
製品技術紹介 53
編集後記

46号
2002

巻頭言
拡大生産者責任制度の具体化を目指して 篠木 昭夫 1

特集 我が社がめざすもの 工業会会員各社代表が語る 21 世紀への展望 7

廃棄物行政の動き
◇平成 14 年度廃棄物関係予算(案)の概要 24
◇平成 13 年度環境省第 2 次補正予算(案)の概要 27
◇2001 年下期・廃棄物行政日誌 28
◇経済財政諮問会議に見る廃棄物処理事業の位置づけ 森本 洋 30

◇廃棄物焼却施設解体作業現場見学記 宮田 治男 34
◇汚泥再生処理センターに関する広域処理システムの提案と資源化技術について 山口 昇 38

ウエステック大賞 2001 について
◇バーナ式熔融炉 石川島播磨重工業(株) 45
◇流動床式ガス化熔融施設 中部上北広域事業組合・(株)神戸製鋼所 49

JEFMA 活動 52

お国自慢
◇高砂市 56
◇八女西部広域事務組合 59
ハーフタイム ちょっとひとやすみ 63
製品技術紹介 65
編集後記

47号
2002

巻頭言

- 21世紀「循環の環」の創出に向けて 藤村 宏幸 1
- 日本環境衛生工業会とPFI事業について 森下 忠幸 3

特別寄稿

- ◇津津地域広域廃棄物処理事業における民間活力の活用について 日高 憲敬 5

廃棄物行政の動き

- ◇一般廃棄物の排出及び処理状況(平成11年度実績) 9
- ◇産業廃棄物の排出及び処理状況(平成11年度実績) 21
- ◇2002年上期・廃棄物行政日誌 23
- ◇「廃棄物・リサイクル制度の基本問題」審議の足取り 森本 洋 25
- ◇し尿処理施設の役割 河窪 義男 29
- ◇第8回海外環境事情調査団に参加して 中里 有宏 35

第31回日本産業技術大賞審査委員会特別賞受賞技術

- ◇加圧二段ガス化システム(株)住原製作所 宇部興産(株) 42

JEFMA活動

お国自慢

- ◇郡上広域連合 51
- ◇高知市 54
- ◇ハーフタイム ちよっとひとやすみ 57
- 製品技術紹介 59
- 編集後記

48号
2003

巻頭言

- 需要の喚起と供給サイドの技術・技能の展開力に期待して 三本木 徹 1
- 小沢辰男名誉会長の足跡 3

廃棄物行政の動き

- ◇平成15年度廃棄物関係予算(案)の概要 6
- ◇平成14年度廃棄物・リサイクル対策関係補正予算(案)の概要 10
- ◇2002年下期・廃棄物行政日誌 11
- ◇今後の廃棄物・リサイクル制度の在り方 森本 洋 13
- ◇最終報告の内容 13
- ◇汚泥再生処理センター整備事業の促進への取組みと資源化技術について 加藤 俊輔 18
- ◇第9回海外環境事情調査団に参加して 松村 史朗 22
- ◇東南アジア(タイ、フィリピン)環境事情調査団に参加して 長田 守弘 27
- ◇環境大臣表彰を受けて 安元 豊 31
- ◇環境大臣表彰の榮譽によくして 中村 立雄 32
- ◇環境大臣表彰の栄に浴して 32
- ◇エコステック大賞2002受賞技術について
- ◇コース如を活用したプラスチックリサイクルシステム 新日本製鐵(株) 三菱重工(株) 33 36

電池種類別装置

- ◇酒田地区クリーン組合ごみ処理施設発電設備付流動床式ガス化熔融設備 酒田地区クリーン組合 39

焼酎副産物リサイクル設備

- ◇サザンクリーン協同組合・石川島播磨重工業(株) 43

台湾ごみ焼却施設で8,000時間連続運転を達成

- Hitiz 日立造船 48

JEFMA活動

- 名称変更決まる 環境省が定款変更を認可 (社)日本環境衛生施設工業会 事務局 54
- 役員・常任参事・顧問・各委員名簿 61
- お国自慢
- ◇須恵町外二ヶ町清掃施設組合 極東開発工業(株) 63
- ◇八街 ユニテカ(株) 66
- ◇ハーフタイム ちよっとひとやすみ 69
- 製品技術紹介 71
- 会員会社 96
- 編集後記

49号
2003

巻頭言

- 「循環型社会基本計画」に寄せて 横田 勇 1
- 改正廃棄物処理法、産廃特措法が成立 5ヵ年計画を改正法に規定 4

- ◇埋立地再生総合技術について 藤吉 秀昭 6

- ◇汚泥再生処理センターの資源化設備としてリン回収設備の提案 河窪 義男 10

廃棄物行政の動き

- ◇一般廃棄物の排出及び処理状況(平成12年度実績) 19
- ◇産業廃棄物の排出及び処理状況(平成12年度実績) 31
- ◇2003年上期・廃棄物行政日誌 33
- ◇バイオマス・ニッポン総合戦略その方向と取り組み(上) 森本 洋 35

JEFMA活動

- 役員・顧問・各委員名簿 45

お国自慢

- ◇美浜・三方環境衛生組合 日立金属(株) 47
- ◇串間市 三菱化工機(株) 50
- ◇ハーフタイム ちよっとひとやすみ 53
- 製品技術紹介 55
- 会員会社 80
- 編集後記